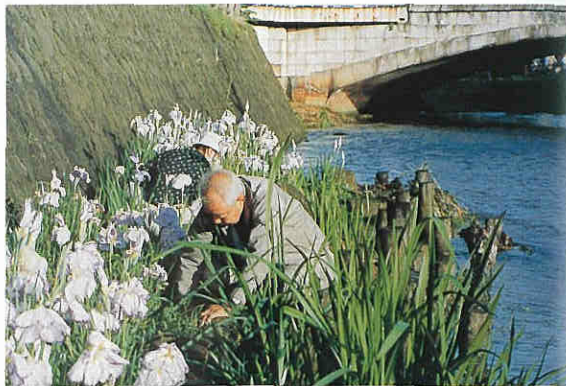




周辺の景観や樹木との調和に配慮して整備が進められた



沿道には蔵を活かした共同店舗も



市民による花菖蒲の植栽

DATA・BOARD ⑤

- ①山形県鶴岡市馬場町・本町1丁目・泉町・山王町
- ②河川整備：延長800m、幅員：約27m、内川ほととパーク面積：約2,500㎡
- ③JR羽越本線鶴岡駅から徒歩約20分
- ④鶴岡公園、大宝館、荘内神社、致道博物館、史跡庄内藩校致道館、鶴岡カトリック教会天主堂、出羽庄内国際村・アマゾン民族館、南岳寺
- ⑤天神祭(5月25日)、荘内大祭(8月15日)



5 ふるさとの水辺…内川 うちかわ



鶴岡市の市街地中心部を流れる内川は、慶長年間に最上義光により現在の流れにつくり変えられた河川で、城下町鶴岡のシンボルとして親しまれてきた。この内川周辺の水辺景観の保全を図り、市民生活に潤いをもたらす空間、中心商業地の入り口にふさわしい場所としての創出を図ることを目的に「ふるさとの水辺：内川」の整備事業が行われた。

計画にあたっては、鶴岡市には都市景観形成推進委員会が設けられており、住民参加によるワークショップ方式などによって意見を集約している。

整備については、川沿いの建築物や橋、史跡、樹木との景観の調和、広い水面域の確保などを図りながら、石積みや小階段を設けている。周辺地域との連続的な利用にも配慮しており、遊歩道やコミュニティ道路の整備を行ったほか、内川公園の親水公園化、橋詰め広場などの整備も行っている。また、水鳥の休息場所となる緑地や魚類のための岩組みを設けて、水辺の生き物たちの生息環境を保護している。

整備後は、市民の憩いの場として、市内を訪れた人の散策の場として親しまれているほか、商業活動の活性化にも結び付いている。また、伝統的な祭りの会場としても使用されている。